

# 地域学校 協働 本部 だより

## なわとび出前授業を開催しました！

10月15日(金)、地域学校協働本部としては初となる活動として、一般社団法人 日本なわとびアカデミーの指導者をお招きして、全学年に向けた「なわとび出前授業」を開催しました。指導者は「なおり」こと安村尚人さん。関東全域の小学校で多くの指導実績のある方で、数年前までは小学校で教員をされていたそうです。

今回のなわとび教室は、小・中・高学年と3コマに分けて2～4時間目を使って行いました。最初の5分間は、「フリースタイル」と呼ばれるなわとび競技のデモンストレーション。二重跳びやはやぶさと言った一般的な技だけでなく、フリースタイルなわとび特有のアクロバティックな動きも入れるのが特徴です。



デモンストレーションの後は「なわとび教室」です。各学年のレベルに合わせ、なわとびの持ち方、二重跳びや三重跳びのコツや、180°(ワンエイティー)やアームラップといった「なわとび技」などを教えて頂きました。「なわとび教室」の時間はそれぞれの学年で30分程度でしたが、しっかりとコツやアドバイスを聞くことで、できなかった二重跳びがすぐにできるようになった児童もいました。

短い時間でしたが、これからのなわとびシーズンを前に、「なわとび」に対する苦手意識をなくし、楽しさや魅力に気づききっかけになったのではないかと思います。今回の出前授業では、高度な技ばかりでなく、運動の「楽しさ」を伝えることや、新たな知識や体験づくりが大事だということを学びました。



裏面に続く

今年度から本校の地域学校協働本部の活動がスタートし、新たな取組が始まっています。今回実施した「なわとび出前授業」は新しい取組の中の一つです。コロナ禍の影響により子供たちの体力が低下している現状を少しでも変えたいという思いを込めた取組でしたが、当日の楽しく取り組んでいる子供たちの様子から、その思いも伝わったのではないかと思います。

先日、文部科学省が公表した資料「子供追跡調査」の分析の中に、小学校時代の多様な経験が後の自尊感情などに関連が見られたとする分析結果がありました。今回実施していただいた「なわとび」もそうですが、様々な運動やスポーツに親しむ機会を増やし、いろいろな体験を通して多種多様な経験を積んでいくことが大切になります。

これからも、地域との様々な関わりが、子供たちの成長につながるよう取り組んでいきたいと考えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

引き続き

学校支援ボランティア  
地域コーディネーター

## 募集中！

あなたが支える子どもの未来。

飛田給小学校の地域学校協働本部は始まったばかりです。できることを、できる範囲で行うために、地域の皆様のご理解とご協力が必要です。具体的な支援が思いつかない方でも、どうぞお声掛けください。できることから一緒に考えていきましょう。

### 現在募集中のボランティア

具体的な内容や実施時期は決まっていますが、現在検討中のボランティア活動です。  
お住まいの地域や就学中を問わず、ご興味がありましたら電話もしくはメールにてご連絡ください。

#### 鯉池の清掃

昨年10月に京王閣様から鯉と亀を譲り受けました。エサやりなどは児童で行うことができますが、池底やろ過槽の掃除は大人でないとできません。最近、ろ過装置も新調して水自体はきれいになりつつあります。これを機に、定期的に鯉池の清掃ができればと考えています。まだ日程は決まっておりませんが、ご興味がありましたら参加可能な曜日、時間帯などをご連絡ください。また、鯉などの魚類の飼育に詳しい方の支援もお待ちしております。

#### クラブ活動のゲストティーチャー

飛田給小学校では月に一度水曜日にクラブ活動を行っております。クラブの内容は、体操、バドミントン、鬼遊び、サッカー、タブレット、科学、イラスト、手話です。これらに関連した知識や特技をお持ちの方で、子どもたちの新たな体験や学びの手助けにご興味がありましたら、得意分野や教えたい内容などをご連絡ください。資格、経験は問いません。定期的ではなく、年に一回とかでも構いません。

上記以外にも、琴や三味線などの伝統芸能や、運動会前の走り方教室など、普段の学校では学べない分野に詳しい方がいらっしゃいましたら、是非ご連絡ください。